

令和5年度 第2回 横浜市自転車等施策検討協議会 会議録	
日 時	令和6年3月19日(火) 9:00~11:00
開催場所	横浜市南区役所 7階 703・704 会議室
出席者	岡村委員(会長)、小嶋委員、吉田委員、絹代委員、酒井委員、岡崎委員、五反田委員、佐竹委員、佐藤委員、鈴木幸委員、鈴木潤委員 計11名 (うち、小嶋委員、吉田委員についてはオンラインによる出席)
欠席者	後藤委員、馬場委員、秋和委員、井上委員、関上委員、福田委員、青木委員 計6名
開催形態	公開(傍聴者0名・報道関係者0名) ※オンラインでの傍聴回数8回
議 題	1 横浜市自転車活用推進計画 各施策の実施状況について 2 横浜市広域シェアサイクル事業社会実験事業評価部会の開催状況について
議 事	<p>1 横浜市自転車活用推進計画 各施策の実施状況について</p> <p>(事務局)</p> <p>(議題1について説明)</p> <p>(佐竹委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児保護者向け交通安全教室については、開催数を拡大していくことが大切だと考えており、令和6年度の開催数は未定とのことだが、令和5年度の実績を受けて、拡大についての考え方を教えてほしい。</li> <li>・自転車保険への加入率については、自転車活用推進計画の指標(2025年度で85%)を達成するためには、若年層を中心に広報・啓発活動を強化していく必要がある。年代別加入率では、「18歳~20歳代」が令和2年から減少傾向にあり、他の年代と比べて数値が低い。この点について分析を行っていただければ、教えていただきたい。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園や保育園に通う幼児世代から、交通安全に関する教育を受けることは大切であり、そうした背景からも交通安全教室の開催数の拡大に至った。また、幼稚園や保育園にも保護者説明会等で保護者に対して、家庭での交通安全教育の大切さを伝えていただくよう、お願いや周知をしている。</li> <li>・自転車保険の加入率状況調査の結果については、特に分析は行っていないが、危機感を感じており、そうした中、自転車保険の加入率促進に向けて、初めてLINE広告での周知・啓発を行った。</li> <li>・以前、市営地下鉄の車内に自転車保険加入を促す広告を掲出した際には、何件かお問い合わせがあったように、広告による周知・啓発は一定の効果があるため、今後も、引き続き、LINEやSNSを活用し、若年層へ届くような周知・啓発を行っていく。</li> </ul> <p>(小嶋委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放置自転車台数の推移については減少傾向だが、近年、減少率が低い値で増減しており、下げ止まり感がある。これについて、ある区域では順調に減少して</li> </ul>

いるが、都市開発や店舗の入れ替え等により、部分的に増加しているような状況なのか、それとも、横浜市全体的に増減の変化が停滞している状況なのか教えて欲しい。

(事務局)

- ・ 放置自転車台数については、令和2年あたりから減少は鈍くなっており、原因は定かではないが、令和2年～3年は新型コロナウイルス感染症拡大により、外出する人自体が減少したことによる影響の可能性はある。
- ・ 部分的な影響なのか、全体的な影響なのかという点については、今の段階ではそういった分析が手元で整理できている状況ではないが、放置自転車の実態調査により、駅ごとの放置自転車の台数を把握しており、今後、放置自転車対策を進めていく中で、実際に現場の状況を的確に把握したうえで、効率的に実施できるように考えていきたい。

(酒井委員)

- ・ 駅周辺の放置自転車について、全体的に自転車駐車場は増えているが、元町・中華街駅では鉄道の定期利用者は減少傾向にある一方で、駅周辺の放置自転車台数はコロナ禍前よりも増加している。駅周辺ではなく、中華街などの放置が増えてきているので、駅利用を目的とした放置ではないのではないかと考えている。駅ごとに状況は異なると思うので、そうした点も踏まえて、今後、放置自転車への対策や分析を考えていった方が良い。
- ・ 自転車通行空間整備について、旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業における自転車通行空間の整備状況についても、情報を収集してほしい。

(事務局)

- ・ 市営自転車駐車場の整備・運営だけでなく、集客施設等における自転車駐車場附置義務条例の制定など、放置自転車対策における施策についても変化している点もある。一方で、駅や地域ごとによって、自転車駐車場の整備状況や利用率、放置自転車台数などが異なっており、今までより、状況に応じて細かく分析していく必要があるため、そうした点については、いただいたご意見を踏まえ、今後の放置自転車関連施策の参考にさせていただく。
- ・ 今回の資料内では、既存の道路における自転車通行空間の整備状況について報告しているが、ご指摘の箇所のように、都市計画道路の整備にあわせて行っている自転車通行空間の整備もあるため、そちらについては、所管部署と協議を進めているところであり、内容や詳細がもう少し具体的になった段階で、次回以降、報告できるようにする。

(鈴木潤委員)

- ・ 自転車保険の加入促進について、近年、新車の自転車購入者数は減少傾向にある一方で、自宅で保管していた古い自転車を再整備して乗るようになる人が増加しているという状況がある。そのため、自転車保険に加入していても、整備不良の自転車に乗っていた場合は、事故になる可能性があるため、自転車の整

備点検方法についても、周知を徹底・強化してほしい。

(事務局)

- ・計画の中でも記載しているとおおり、自転車の整備・点検についての周知・啓発も大切と考えているため、委員を通じて、連携して実施させていただきたい。

(鈴木潤委員)

- ・承知した。

(絹代委員)

- ・電動モペットやフル電動自転車への啓発について、個人で購入した場合は、車両の規格等が道交法に適しているか分からないため、日本の道交法にそぐわない自転車に乗らないような周知・啓発を県警と協力して、広域に発信するよう模索してほしい。
- ・スケアード・ストレイト方式自転車交通安全教室については、前回開催した協議会でもお伝えしたように、科学的にもあまり効果がないことを確認しているため、実施する必要はないと考える。また、当該事業に係る予算については、実施希望区で計上しているのか？また、そうでない場合は、当該事業に係る予算を別の関連施策の強化等、有効に振り分けるべきと考える。
- ・切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実について、YouTube を活用した啓発では、横浜市の人口と比較し、動画の視聴者数がかかなり低いことから、改善方法の模索や他の方法を検討するべきと考える。
- ・幼児保護者向けチラシでは、1歳半検診や3歳児検診に訪れる保護者のほとんどは、配布されても読まないため、母子手帳配布時など、もう少し早い段階で広報や周知・啓発を図るべきと考える。また、チラシ配布やポスター掲出等については、啓発物が読まれずに捨てられることや交通安全に関心がない園へ周知・啓発が行き届いていない現状を踏まえて、市として周知・啓発に協力してくれる味方を増やすべきと考える。
- ・小学生・中学生・高校生を対象とした各自転車交通安全教室では、「何を守ってくれる子どもを増やしたいのか？育てたいのか？」という目標を自転車交通安全教室に関わる者、全員で共有すべきと考える。

(事務局)

- ・電動モペットやフル電動自転車など、昨今、様々な種類の新たなモビリティの台頭により、利用者が分かりにくい現状があるが、そうした部分についても細かく交通安全啓発を実施していく必要があるため、県警と協力し、意見交換・相談を行い、やり方や周知方法等について検討していきたい。
- ・スケアード・ストレイト方式自転車交通安全教室に係る予算については、道路局で計上しているが、予算の執行については、区で行っており、区と連携して行っている事業であるため、今後の当該教室の実施の方向性については、区の意向を伺いつつ検討したい。
- ・YouTube を活用した啓発や幼児保護者向けチラシ、小学生・中学生・高校生を

対象とした各自転車交通安全教室については、至らない点が多々あり申し訳ない。委員からいただいたご意見を参考に、より良い形となるよう検討して参りたい。

(吉田委員)

- ・シェアサイクルの今後の取組の方向性について、サウンディング型市場調査では、現状、どのような内容を確認しようとしているか？

(事務局)

- ・サウンディング型市場調査では、具体的な公募条件や仕様など、共同事業の中身が分かるような資料を提示して、ヒアリングを行っていく。

(吉田委員)

- ・公募条件については、市側である程度、案を考えたいうえで確認を取っていくという進め方なのか？

(事務局)

- ・お見込みのとおりです。

(鈴木<sup>幸</sup>委員)

- ・シェアサイクルの今後の取組の方向性について、シェアサイクルポートの設置など、ハード面では整備が進んでいる一方で、交通安全や利用におけるルールやマナーの周知・啓発といったソフト面についても、「まもる」施策とリンクするような形で事業を進めてほしい。また、令和7年度から市内全域一体でのシェアサイクル事業を展開するとのことだが、「市内全域一体」というのは、一事業者ということか？
- ・自転車通行空間の整備について、新しい都市計画道路などでは、自転車専用通行帯は比較的容易にできるが、既存道路の中への整備はなかなか難しい面もあり、シェアサイクルポートを設置すると、「そうした場所は自転車通行空間が整備されているところなのか？」という意見もあるため、その辺を連携して進めて欲しい。

(事務局)

- ・事業者の選定などの諸条件についても、サウンディング調査などを踏まえて最終的に決定していく内容になる。エリアを分けて、異なる事業者のサービスを展開していくと、サービス展開区域の境界周辺における利便性が高まっていかないという課題はあるため、一つのシェアサイクルのサービスを全体的に展開できるようにという考えから、「市内全域一体」としている。一方で、市内には既に複数事業者がシェアサイクル事業を展開しているため、それぞれの利用者などのバランスをどう考慮するか、公募条件の中でどう評価するかといった詳細については今後、検討や調整をしていく。

(岡崎委員)

- ・謎解きサイクルイベントについて、様々な課題を認識していると思うが、実施期間に対して、参加者数が少ない。また、イベントの有償化に対するアンケート

トの設定について、自転車を安全に利用して横浜の街を楽しんでもらうという趣旨から逸脱しており、アンケート結果からも、イベントの目的が不鮮明になっていると考える。イベントにおいて自転車の使い方やより親んでもらうという施策を進めるのに、どういったイベントや仕掛けがいいのか？という点をもう一度考えた方が良い。

(事務局)

- ・今回のイベントでは、謎解きというコンテンツを通して、普段自転車に乗っていない方が、自転車を利用するきっかけとなるよう意図して実施したものが、参加者数が想定見込よりもかなり少なく、伸び悩んでいた点を踏まえると、当初、本市が意図していた点の実現できていなかったと思われる。イベントを行っていく中で、どういった方をターゲットにして、どういった目的で実施していくかという点について、きちんと整理しておくというのは非常に大事であるため、今後、イベントを企画する際には、いただいたご意見を踏まえて考えていきたい。

(絹代委員)

- ・謎解きサイクルイベントについて、シェアサイクル利用でのイベント参加を推奨するのであれば、イベントサイト内で利用方法を掲示するなど、より丁寧にナビゲートし、自転車でイベントに参加した際の魅力やメリット等についても打ち出していくべき。また、敷居が高いイベントになっていたため、誰もが気軽に参加できるようなイベントを具体的な発信も含めて検討すべき。
- ・自転車活用推進計画の指標について、自転車通行ルールの認知度（遵守度）や自転車利用環境の満足度など、本来であれば100%を目指すべきところ、目標値が達成できそうな値で設定されているため、目標値の設定については、達成すべき目標のビジョンを明確にし、達成のために何ができるかという点も含めて再考するべきではないか？

(事務局)

- ・指標については、昨年度の協議会の中で議論した結果を踏まえて、目標値を設定しており、現状、2025年度の目標を設定しているが、今後、2025年以降の目標を設定する際には、今回いただいたご意見を踏まえ、どういった項目や目標値のレベル感が適切なのかという点に注意して検討していきたい。
- ・サイクルイベントに関するご意見については、今後の参考にさせていただきます。

(岡崎委員)

- ・保険加入状況調査では、実施年度によって回答率が異なるのであれば、自転車保険加入率の値も異なってしまうため、保険加入率の設定方法についても再検討すべきではないか？

(事務局)

- ・前回までは郵送とインターネットによる方法で調査を実施していたが、今回は

アンケートのみで調査を実施したところ、回答率が低下してしまった。今後、郵送料金の値上げといった状況を踏まえつつ、どうすれば効果的な調査ができるか検討していきたい。

(鈴木潤委員)

- ・切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実については、幼児や小・中・高校生への交通安全教室について、各教室の実施回数ではなく、対象としている園児や児童、生徒の何%に交通安全教育が実施できているのか知りたい。

(事務局)

- ・詳しい調査を行っていないため、具体的な割合は分からないが、小学生に対する交通安全教室については、横浜市内の小学校 340 校中 254 校に実施している。また、幼児交通安全訪問指導については、約 600 園から申込をいただいているが、人手不足等により、約 300 園ほどしか実施できておらず、課題として認識している。
- ・一方で、家庭内での交通安全教育も重要と考えているため、各小学校長にも、子どもの交通事故データマップ等を活用し、保護者と子どもと一緒に交通安全について考えていただくよう依頼をしており、今後、こうした部分について強化していきたいと考えている。

(五反田委員)

- ・教育・啓発・指導ができる体制づくりについて、幼稚園・保育園、学校等だけでなく、家庭での（保護者への）交通安全教育が重要だと考える一方で、どの家庭も仕事や育児等で忙しく、「横浜市交通安全母の会」でも啓発物を渡す際に大切なこととして伝えているが、思うように周知・啓発できていない。そのため、「どのようにして皆さんへ伝えていくか」というのが最大の課題と捉えている中で、交通安全について、母親に教育できるようなことを実践するよう、行政を含め、関係各所と連携してやっていきたいと考える。

(事務局)

- ・保護者向けリーフレットや保育園向けパンフレットやポスターについて、実際に子どもを保育園等に通園させている職員や保育園へ訪問指導を行っている職員らと一緒に、交通安全に関して、どのようにしたら安全に通園できるかといった点や、保護者が子どもに教えるべき内容などを選定し、作成した。作成した啓発物については、保護者の目に留まるようなところに掲出していただくよう、各園に依頼する予定。

(酒井委員)

- ・子どもに対する交通安全教育は重要であるが、昨今、電動モペットやフル電動アシスト自転車、電動キックボードなど、新しいモビリティに対する交通安全の啓発も大切と捉えており、車両の乗車対象年齢に合わせて、大人に対する啓発も必要だと考える。
- ・謎解きサイクルイベントについてだが、過去実施したイベントでは、一定数の

参加者がいたと思う。イベント参加にあたり、目的地などが分からないと、出発前に参加者が走行ルートや立ち寄り場所など、予定を立てにくいいため、そうした点を踏まえたうえで、今後は参加者を増やすような工夫した方が良い。

- ・シェアサイクル事業における分析について、目的や移動距離等について知りたい。また、シェアサイクル事業について、何がどういう形になっていると、横浜市として最終的に目指す形になっているのか教えてほしい。

(事務局)

- ・今後、イベントを実施していく際には、いただいたご意見を踏まえて、分かりやすさや目的等、しっかり整理したうえで実施していきたい。
- ・シェアサイクル事業の目的は、「公共交通の機能補完」であり、バス停から一定距離離れたポートにおける移動データを分析すると、一定程度の回数が利用実績としてあり、新たな交通手段として利用されているとして評価できる。また、駅と駅間の移動といった「公共交通の路線間の移動」や、終電や終バス後の移動といった「公共交通の終了後の移動」についても、「公共交通の機能補完」の一つである。
- ・シェアサイクルについては、莫大なトリップ数ではないが、きめ細かい移動のニーズを救済していく役割も担っており、そうした事業を市内全域で展開していくことで、市内全域の移動の利便性の向上を目指していきたいと考えている。そのためには、ポートの密度を確保する必要があるが、その詳細については、今後、調整していきたい。

(吉田委員)

- ・謎解きサイクルイベントについて、共創フロントを通じた官民協働により、問題解決に向けてイベントを実施し、それを通して、日常的に自転車を利用していない方に対し、自転車活用の機会創出やアピールできたという点については、一定の評価をしている。一方で、謎解きイベントであるため、あまり分かりやすくしすぎないように配慮しつつ、パターンを分けて参加対象を広げられるような工夫をした方が良い。
- ・シェアサイクル事業でも今後、市内全域一体での展開を見据えている中で、今回のイベントでは、シェアサイクルでの参加を推奨しつつ、エリアを広域一体的に捉えていたため、そういった点でも一定の意義はあったと考える。

(事務局)

- ・今回のイベントでは、謎解きというコンテンツを通して、普段自転車に乗っていない方が、自転車を利用するきっかけとなるよう意図して実施したものの、スポットが分かりにくい点や、ルートの距離が長く、回るのに時間がかかる点など、様々な問題が考えられ、もう少しライトな参加者層に向けたイベントにするよう配慮すべきだった。また、イベント実施時にはシェアサイクル社会実験も実施していたので、事業の連携により、自転車の広がりや創出できればと考えていたが、実際に事業に落とし込んだ際に、それがうまく反映でき

	<p>なかったため、今後、イベントを行う際には、参加者層やニーズを適切に捉えて実施していきたい。</p> <p>(吉田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試みとしては悪い取り組みではないが、仕組みや作り方次第だと考える。</li> </ul> <p>(岡村会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議事2に移りたいと思うので、その他お意見があるようであれば、事務局に寄せていただくようお願いする。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <p>(議題2について説明)</p> <p>(岡村会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議事2について意見はないか？</li> </ul> <p>(異議なし)</p> <p>3 閉会</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 次第</li> <li>(2) 委員名簿</li> <li>(3) 説明資料</li> </ul> <p>2 特記事項</p> <p>次回の開催日時・場所は、後日お知らせします。</p>